

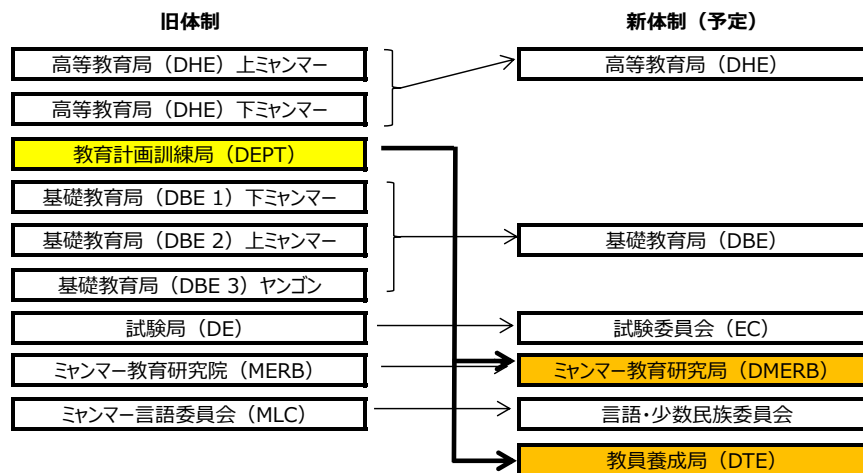
カリキュラム・教科書・アセスメントコンポーネント

ニュースレター (第10回)

教育省の組織改編で CREATE のカウンターパートが変わる！

去る3月18日(水)に加藤総括、山川専門家、村瀬専門家がネピドーにて教育副大臣と面談しました。この面談の中で、教育省の組織改編によって、本年4月よりカリキュラムに関する業務は「ミャンマー教育研究局 (Department of Myanmar Education Research Bureau: DMERB)」の管轄になり、職員や教育専門家の配置なども DMERB の責任において行われることが説明されました。また、それに伴い、CREATE から要求している CDT メンバーの増員も、前向きに検討するという回答が得られました。

ご存じのように、CREATE は「カリキュラム・教科書・アセスメント」と「教師教育」の2つのコンポーネントから構成されています。これまで教育計画訓練局 (Department of Education Planning and Training: DEPT) がカウンターパートでしたが、組織改編後は「カリキュラム・教科書・アセスメント」コンポーネントは新設の DMERB、「教師教育」コンポーネントも新設の教員養成局 (Department of Teacher Education and Training: DTET) という2つの局をカウンターパートにもつこととなります。



教科別カリキュラム委員会との良好な関係作り進む

前回のニュースレターにおいて、2月9日(月)にミャンマー一語、英語、算数、理科、社会の5教科の教科別カリキュラム委員会 (SWC) の座長と事務局長を CREATE にお招きし、話し合いをもったことはすでにお伝えしましたが、その後、2月27日(金)には道徳・公民、ライフスキル、体育、芸術(音楽、図工)、農業の5教科についても話し合いの機会をもちました。

前回同様、これまでに開発した学習内容及び教科書デザインについて、使用語句や言い回しといった細かい点での修正の必要性の指摘はあったものの、座長、事務局長ともに CDT 及びプロジェクト専門家の努力を高く評価してくださり、教科書開発に関して積極的に協力していきたいとコメントされるなど、とても友好的な雰囲気の中で話し合いが進みました。CREAT としては、今後もこのような話し合いを随時もつようにし、SWC との意思疎通を密に行いながら、引き続きよい関係を築いていければと考えています。



UNICEF の KG 担当者と初のセミナー開催

去る3月5日(木)、UNICEFのKGチームをCREATEに招いて、カリキュラム・セミナーを開催しました。このセミナーは、子どもたちがKGからG1へスムーズに移行できるようにKGと初等教育との学習内容の開発において一貫性と関連性をもたせていこうというもので、そのためにUNICEF及びCREATEがお互いにそれぞれが開発しているカリキュラム内容について理解を深めることを目的に行われました。

まず、KGチームからKGカリキュラムについての概要の説明があり、その後CREATEから、特にKGの学習内容と関係が深いミャンマー語、算数、理科の3教科を中心にカリキュラム全体の構造とG1の学習内容について説明を行いました。話し合いの中で、特に議論となったのは、ミャンマー語教育についてでした。現状では、ミャンマー語を教える際にどのような教え方が効果的かといった実験的なデータは残念ながらなく、そうした研究も行われていません。

Learning Areas	Key Concepts	Primary Grade Subjects
Well being	<ul style="list-style-type: none"> - Food and nutrition, - Healthy behavior and personal hygiene, - Environmental sanitation - Safe and secure environment, - resilient 	<ul style="list-style-type: none"> - Social science - Natural science - Life skills - Physical education
Being and Becoming	<ul style="list-style-type: none"> - capable and confident, self-directed independent - strong sense of shared values and moral responsibility - Strong relationship - national identity and sense of social justice 	<ul style="list-style-type: none"> - Social science - Life skills - Moral <u>value</u>ss
Communication	<ul style="list-style-type: none"> - (4) skills in language learning 	Myanmar and local ethnic language
Exploring Mathematics	<ul style="list-style-type: none"> - basic Mathematical concepts - Counting, reading and copying whole numbers - Basic geometrical concepts - Fundamental concepts of measurements 	<u>Mathemati</u>
Creativity and Problem Solving	<ul style="list-style-type: none"> - Creativity (visual arts and performance arts) - Basic knowledge on Problem solving 	Natural science, social science, <u>Maths</u> , aesthetic education
Knowledge and Understanding of the World	<ul style="list-style-type: none"> - Life world of plants and animals; - Interdependence among living things 	Natural Science, social science, <u>Maths</u> , aesthetic education

KG と初等教育との学習内容の関係性 (UNICEF の発表資料より)

こうした状況の下で、新カリキュラムにおいても伝統的な言語教育の方法を踏襲していくのか、それとも新しい方法を開発し、導入していくのかは非常に重要な問題であり、慎重に検討していく必要があるという意見が出されました。

ミャンマー語 CDT からは、G1 の教科書開発において伝統的な方法と新しい方法を半々程度採用しているという説明を行いました。この折衷方法がミャンマー語教育にとって最も効果的であるという理由付けは十分でないため、今後 CREATE では学習方法の検討はもちろん、その学習方法を選択した理由についても十分に説明できることが必要になってくると思われました。

CREATE から新しいアセスメントの提案!

3月23日(月) CREATE 主催のアセスメント・セミナーがダイヤモンド・ジュビリーホールで開催されました。このセミナーは、新しいカリキュラムの下でのアセスメントのあり方について検討する機会をミャンマーの教育関係者に提供することを目的に、アセスメントを担当する教育計画訓練局、基礎教育局、タウンシップ教育事務所、教育大学、試験局などの職員及び教員を招いて行われました。参加者は教育副大臣も含め100名を超える大規模なものとなりました。

午前中は、新しいアセスメントのあり方と現行のアセスメント体制を改革していく上でのミャンマーの課題といったテーマで、教育測定研究所 (CREATE が再委託を行っている我が国の教育評価を専門とする団体) 及び村瀬専門家から発表が行われました。引き続き、午後には午前中の発表内容を踏まえて、参加者がグループに分かれて今後のミャンマーにおけるアセスメントの方向性について議論を行いました。CREATE としては、初めてのアセスメントに関するセミナーでしたが、現在、同国ではアセスメント改革が重要な政策改題となっており、教育大学を中心にアセスメント改革のためのワーキング・グループも立ち上げられていることから、どのグループでも参加者は熱心に議論をしていたようです。なお、本セミナーの様子は現地の新聞にも取り上げられました。

第2回教師教育セミナー開催

去る3月6日（金）に CREATE 主催の教師教育セミナーがダイヤモンド・ジュブリーホールで開催されました。このセミナーは昨年9月22~23日に開催されたシンポジウムに続くもので、前回の議論をより深く掘り下げて、教員養成校のカリキュラム改革、教授方法の改善、教育実習の強化、学生の学習評価のあり方など、具体的なテーマについて話し合いがもたれました。参加者は教育省、ヤンゴン教育大学、教員養成校、開発パートナーなどから総勢50名でした。



本セミナーでは、まず小野専門家より「Preparing Reflective Teachers Who Implement Curriculum Right」と題した発表が行われ、その中で南アフリカ、ブルキナファソ、インドネシアの具体的な事例が取り上げられました。その後、教師教育チームのカウンターパート4名が順番に、ミャンマーの教師教育の現状と課題を発表しました。午後には、こうした発表内容を踏まえて、参加者によるグループ討議が行われ、参加者の皆さんは積極的にミャンマーの教師教育の改善のためのアイデアを出し合っておられました。

ミャンマーの水かけ祭り

ミャンマーではティンジャン（Thingyan）と呼ばれる新年を迎える水祭りが4月12日（日）から始まります。この「ティンジャン」とは、バーリー語の「サンカント（Sankanta）」に由来し、太陽が魚座から牡羊座に移動することを意味すると言われています。

ミャンマーの人々にとっては一年でもっとも重要な行事で、水をかけることで一年の埃を洗い流すというメッセージが込められているようです。ヤンゴン市内でもあちこちでステージが造られ、そこから放水したり、水を浴びせられたりで大騒ぎになります。ただ、4月は一年で最も暑い時期でもありますので、水をかけられると体温が下がって気持ちいいことは間違いないのですが...



これに伴い、今年は4月13日~4月21日までが正規の祝日となっています。ただ、例年、その祝日プラス1週間程度は、ティンジャンの興奮で仕事にはならない状況が続くそうです。

【お知らせ】

4月はミャンマーの水かけ祭りの休暇期間となり、CREATE 専門家もすべて一時帰国します。そのため、4月のニュースレターは休ませていただきます。次回は2015年5月末の発行となります。

文責：田中義隆（カリキュラム・チームリーダー）
編集：宮原光（プロジェクト・コーディネーター）